

どうする進路

昨年度の求人は、コロナウイルスの影響もあり一昨年度より減少しました。特に製造業の採用人数が減少してきています。逆に、土木系の求人が増加しました。その中で、一次応募の内定率は9割と高く、一昨年の約8割6分を超えることができました。地元外の企業について、オンラインでの応募前見学や、試験・面接が導入された企業がありました。昨年度の傾向として、合格率は基礎力診断適性検査や普段のSPIテストの上位者は良い傾向でした。学校の成績が良くても、当日の学力試験の成績が低かったり、おとなしくて面接での受け答えがうまくできていなかった生徒は、一時応募で良い結果を出すことが出来ませんでした。そのため、基礎学力・コミュニケーション能力の向上が必要です。また、資格をたくさん持っている生徒を採用する傾向もあります。

今年度は、コロナウイルスの影響で、求人がどのようになるか分かりません。しかし、企業が望む生徒は、バランスの取れた生徒です。試験で点を取り、面接で元気よく自分の考えを話し、部活動を頑張り、礼儀正しい生徒を求めています。そのため、日々の生活を大事にし、いつでも対応できる力をつけてください。3年生の夏休み後半には、校内選考があります。就職希望者や進学で推薦を希望する生徒を審議する会議です。この中で、最も重要となるのが評定平均値です。例えば、大企業の就職や国公立大学の推薦入試を受験しようとするれば、高い成績が必要です。

◇休まないこと

採用選考試験で求められるのは、学力、やる気、体力、協調性、忍耐力、等挙げればきりがありません。その中ではっきり数字になるものがあります。欠席日数です。一般的に3年間で10日以内と言われていますが、大手の企業では3日以内という企業もあります。

◇部活で鍛える

部活で鍛えた体力・忍耐力・礼儀・コミュニケーション能力を期待して、「部活で頑張った生徒」を採用したいと言われる企業の方は多いです。

◇明確な進路希望

将来どのような進路に就きたいか明確になれば、自ずとやるべきことが決まってきます。まだ進路希望が決まっていない人は、自分は何をやりたいのか、何に向いているのかなどを考え、保護者・担任と相談し進路希望を決めてください。

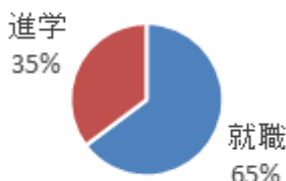
◇就職に強い

昨年も、就職希望者は全員内定を勝ち得ました。進路の奥CAの放課後キャリア塾や、全職員に協力してもらい面接練習を強化しました。また、面接シートを活用し、自主的に面接練習を頑張った生徒の一次合格率は好調でした。毎日の授業、部活、学校行事、SPI模試などそれらに前向きに取り組むことで自然と進路選択の可能性は広がってきます。

◇推薦入試以外は難しい

国公立大学は推薦入試で、鳥取大・島根大に合格しました。国語の板持先生や理科の田中先生などに生徒自ら進んで指導していただき努力した結果です。私立大学では、ボート部で結果を残し明治大へ合格しました。一般的には、指定校推薦で多くの生徒が進学しています。一般試験や一般推薦で大学を受験する生徒の合格は難しく、希望者は1年生の早い段階から受験対策が必要だと思われます。

令和3年度 3年生進路希望調査



◇公務員

昨年度は自衛隊以外に現役で国家公務員、県職、海上保安庁に合格した生徒がいました。家に帰ったらスマホを親に渡すなどし、問題集でひたすら勉強した結果です。

今の高校生は年金支給まで50年以上働くことになるかもしれません。将来をよく考えて進路選択し、191名が来年3月に笑顔で卒業できるように頑張りましょう。

進路指導部 前田 達之